

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ダイキョーニシカワ株式会社 大和工場

(2) 事業所の所在地

〒729-1332 広島県三原市大和町上草井505番地

(3) 業種

輸送機械器具用プラスチック製品製造業(1832)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22（2010）年度を基準年度とし、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **売上高(百万円)**

温室効果ガスの種類	原単位 (a) 基準 年度 原単位	目標年度 原単位 (b) 上段：原単位 削減率 (c) 下段：削減率	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成22年度 ()	令和6年度 ()	平成31年度 ()	令和2年度 ()	令和3年度 ()	令和4年度 ()	令和5年度 ()	令和6年度 ()
起源CO ₂ エネルギー	2.410	2.290	0.798	0.822	0.826	0.818	0.788	
起源CO ₂ 非エネルギー		5.0	66.9	65.9	65.7	66.1	67.3	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出量総計 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	1.306	1.240	0.940	0.980	0.690	0.680	0.626	
		5.1	28.0	25.0	47.2	47.9	52.1	
実績に対する 自己評価	既存設備/工程においては省エネ推進はされたが、工程移管等の新設においては不十分な部分があった。							

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	・ A重油使用量の削減 原単位で前年比17.0% 削減	・ 塗装工程蒸気使用時間設定温度改善 ・ 蒸気漏れ点調査と修理
2	電気使用量の削減	・ 電気使用量削減 原単位で前年比4.0% 削減	・ 工業用水取水ポンプ更新 ・ 成形機ヒーター加熱時間変更
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	LPガス使用量の削減	LPガス使用量30%低減	・ LPガス燃料のフォークリフトをバッテリー式のフォークリフトに更新
2	環境負荷物質の管理/低減	環境負荷物質；自主管理計画（実施率 100%）	・ 新規部品；環境負荷物質データ入手（測定&登録） ・ 化学物質の適正管理/SDSの教育
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。